

2024 年度中京大学入学式式辞

中京大学の学部、並びに大学院研究科にご入学された皆さん、ご入学、誠に
おめでとうございます。皆さんを心より歓迎いたします。入学生の皆さんを本
日まで育て、支えてこられたご家族・保護者の皆様方にも、謹んでお慶びを申
し上げます。

学校法人梅村学園は昨年、創立 100 周年を迎え、新たな一世紀に向けスター
トを切りました。そして中京大学は今年、開学 70 周年を迎えました。学園や
大学にとっての大きな節目に入学されたことを胸に刻み、これから始まる大学
生活を過ごしていてももらえれば、大変嬉しく思います。

梅村学園の歴史は、中京商業学校、現在の中京大学附属中京高等学校が 1923
年（大正 12 年）に設立されたところから始まります。このとき、創立者の梅
村清光先生が定めた校訓が「真剣味」です。「真剣味」は、江戸時代の水戸藩
の藩校であった弘道館の教育理念の一つ、文武不岐に由来する言葉です。「真
剣味」の「真」は真実、真理を探究する知育、「剣」は剣道や剣術、つまり体
育、そして「味」は人間味、すなわち徳育を意味しています。この校訓には、
知、体、徳の三つを兼ね備えた人間に育ってほしい、という思いが込められて
いるのです。

中京大学は、中京短期大学として 1954 年（昭和 29 年）に開設され、その 2
年後に四年制大学となりました。開学者で初代学長であった梅村清明先生は、
校訓「真剣味」をさらに具体化し、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿
堂たれ」を掲げました。建学の精神には、スポーツマンシップの要諦として、
四大綱が示されています。「一、ルールを守る 二、ベストを尽くす 三、チ
ームワークをつくる 四、相手に敬意を持つ」の四つです。この四大綱は、ス
ポーツにおいてはもちろんですが、そればかりでなく、社会で生きていく上で
忘れてはならない、人としての心構えを説いたものといえます。ぜひ、大切に
覚えておいてほしいと思います。

開学以来、校訓「真剣味」、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂た
れ」を礎として歩んできた中京大学は現在、名古屋と豊田の 2 つのキャンパス
に総勢 1 万 3000 名を超える学生が集う、中部でも有数の総合大学となってい
ます。本年度は、大学院に新たに人文社会科学研究科が誕生し、第一期生とし
て 15 名が、人文科学や社会科学の多様なテーマに向き合っていくことになり
ます。

皆さんはこれから先、学業や課外活動などを通じてたくさんの友人と新たに
出会うことになるでしょう。社会では多様性の尊重が叫ばれていますが、出身
地も考え方も趣味嗜好もそれぞれに違った、多種多様な人が集まっているのが
大学のキャンパスです。異なった価値観を持つ人とも交遊を深め、積極的に視
野を広げていってください。

大学での生活は、高校までに比べ、格段に自由度が増します。そこで大事な
のは、自分の中に「卒業後はこういう仕事についてみたい」「こんな人生を目
指したい」といった目標を持っているかどうかです。自らの理想像を描き、そ
の実現に向け、一步ずつ着実に近づいていこうという思いをもって授業や部活
動に向き合うことができれば、間違いなく充実した大学生活が待っているでし
ょう。中京大学には、将来に向けた皆さんのチャレンジをサポートできるよう
な、さまざまな設備や制度、環境が整っています。それらを大いに活用し、
日々を大切に過ごして行ってほしいと願います。

一点、注意をしてほしいのは、この一年余りで飛躍的に技術が進化し、使い
勝手が良くなった生成A Iとの接し方です。生成A Iを巡っては回答の信頼性
や著作権に関する議論もありますが、それ以上に問題なのは、生成A Iに頼っ
ていては、本来大学で養うべき力を身に付けることができない、ということ
です。大学における学びの目的は、単に網羅的な知識を得ることではなく、さ
まざまな角度から物事を考えて解決する力、新たな価値を創り出す力を育み、自
分自身を成長させることにあります。生成A Iに依存するのは、そのチャン
スを摘み取ってしまうことにほかなりません。最先端のI T技術を闇雲に敬遠
する必要はありませんが、こうした特性を十分理解し、節度を持って使いこな
していくよう、お願いします。

私たちの住む世界は今、過渡期にあります。海外から日々届くニュースを見
ていると、グローバル化に向けて進んでいた時計の針が、いつの間
にか「分断」の方向に逆回転しているようでもあります。混迷する国際情勢の中
で、日本はどう振る舞っていくべきか。政治の混迷、経済の再構築といった国
内の課題も立ちはだかり、舵取りは難しい段階に入ってきています。それだけ
に、私たち一人ひとりが目の前の課題を「わが事」ととらえて、真剣に考え、
意志表示を行っていくことが大切なのだと考えます。

ただ、そのためには、情報を正しく知っておかねばなりません。世の中には
膨大な情報が溢れかえっていますが、偏った情報、悪意に満ちた虚偽情報も決
して少なくはありません。うわべに惑わされないためには、情報を選別してい
くリスク感覚が必要です。SNSばかりではなく、新聞や幅広い分野の書物な
ど、多様なメディアに日頃から接する習慣を付けることによって、情報リテラ
シーを向上させるとともに、物事の本質を見極める力を身に付けて行ってほし
いと思います。

最後になりましたが、本日から始まる中京大生としての生活をどんなもの
にしていくのかは、皆さん次第です。可能性はあらゆる方向に広がっています。
何事もあきらめずに全力を尽くし、自らを磨いて、たくましく、しなやかに成
長して行ってください。中京大学の教職員は、皆さんの挑戦を全力で支援して
いきます。皆さんのこれからの大学生活が実り多きものでありますよう、心か

ら祈念して、式辞とさせていただきます。本日はご入学、誠におめでとうございます。

2024年4月4日

中京大学長 梅村 清英